

大分県情報サービス産業協会 平成15年度総会開催

記念講演 日本銀行大分支店長 植村 修一 氏

大分県情報サービス産業協会平成15年度通常総会が4月23日午後2時から、大分市内ソフトパークの大分第二ソフィアプラザビル2階ソフィアホールで開催された。司会は後藤与一事務局長。

開会の辞のあとさっそく総会議事に入り、平成14年度の活動実績報告、収支決算承認に続いて、平成15年度の協会活動方針、各委員会の事業計画、収支予算などを議決した。続いて、協会理事、監事の任期満了に伴う改選が行われた。会長には、引き続き郷司潔氏、副会長に清水正俊氏、理事に阪田安丸氏、渡邊俊治氏、小野敬一氏、荒城英世氏、高橋良忠氏の各氏、監事に臼杵敏雄氏、阿南光洋氏の各氏がそれぞれ再任された。

総会に引き続いて、郷司潔会長が挨拶。「東京あるいは福岡への一極集中の傾向がますます強まっているとはいえ、市町村合併によるシステム統合作業や県下の情報化そのものもこれからであり、開拓すべき市場は十分残されている。この業界にも空洞化現象が懸念されるが、ITコーディネータなどいろいろなソリューションを提供できる人材を養成して、ソリューション営業を展開すれば、県内の企業も地元ベンダーに発注してくれると思う。早急にこの対応に取り組むべきだと思う。また我々の業界から要望した各種優遇税制を自社の節税や営業の武器として活用すべきである。」と述べた。続いて来賓の二宮滋夫大分県商工労働観光部長(当時)(現大分県出納長)、秋月睦男大分県工業団体連合会会長、熊埜御堂勝大分県中小企業団体中央会専務理事の3氏にご挨拶をいただいた。さらに今回は、雇用・能力開発機構大分センター雇用管理アドバイザーの清成真一氏に「大分県内情報サービス業の課題と対応策」というテーマで解説をいただいた。その後「最近の内外金融経済情勢について」をテーマに日本銀行大分支店長植村修一氏の講演が行われた。

懇親会は清水副会長の挨拶の後、大分県商工労働観光部産業技術振興課長(当時)(現大分県大阪事務所長)の安東紀和氏の乾杯の音頭により始まった。約1時間の和やかな歓談の後、大分県産業創造機構専務理事の渡邊武氏の万歳三唱で閉会となった。



郷司会長挨拶



二宮滋夫大分県商工労働観光部長挨拶



総会風景

平成15年度収支予算 (単位：千円)

科 目	平成15年度 予算額	平成14年度 決算額	増 減	
収入の部	会費等収入	2,315	2,310	5
	事業収入	4,300	4,288	12
	JISA交付金	800	868	△ 68
	事業外収入	2	12	△ 10
	前年度繰越金	3,162	3,204	△ 42
合 計	10,579	10,682	△ 103	
支出の部	管理費	600	463	137
	総会費	250	188	62
	事業費	7,000	6,810	190
	予備費	120	60	60
合 計	7,970	7,521	449	
次期繰越金 (内積立)	2,609 (2,000)	3,161 (2,000)	△ 552 (0)	



懇親会風景

平成15年度 協会活動方針

1. 関係機関及び関連団体との交流と連携を深めるとともに、行政のIT諸施策への貢献をめざす。
2. 委員会活動の充実をはかり、高度情報化社会に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員相互の情報交換と啓発活動を推進する。

2. 事業計画

- 事業計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。
- (1) 県内企業の技術者向けの専門および先端技術に関する講座等の企画
 - (2) 行政との十分な協力体制をもとにした地域に開かれた研修活動の企画
 - (3) 会員の要望に応じた事業の企画

総務委員会

委員長 宮本 直記

(メルハンコンピュータシステム(株)取締役)

副委員長 戸澤 則道

(株)インテック大分センター所長)

事務局 上杉 勝

(九州東芝エンジニアリング(株)部長)



イベント委員会

委員長 野尻 健

(大分中央電算(株)部長)

副委員長 中川 雅裕

(株)スリーエイ・システム次長)

事務局 森崎 雄二

(ゴードービジネスマシン(株)部長)



技術委員会

委員長 阿南 光洋

(三井造船システム技研(株)大分事務所所長)

副委員長 佐藤 清孝

(株)ウィルウェイ代表取締役)

副委員長 築城 久敏

(システムトレンド(有)代表取締役)

事務局 伊達 慎二

(株)富士通大分ソフトウェアラボラトリ課長)



1. 事業方針

- (1) 協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
- (2) 会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。

2. 事業計画

- (1) 次の協会定例行事の企画・開催
 - 4月 通常総会・講演会
 - 8月 ボウリング大会
 - 11月 親睦ゴルフ大会
 - 1月 新年会・講演会
- (2) 行政、情報産業団体等との交流
- (3) 会員拡大

1. 事業方針

イベント委員会は、委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールすることを主な方針とする。

- (1) サウンズコンテストの充実
- (2) マスコミやネットメディアなどへの積極的な働きかけ
- (3) 他団体への積極的な働きかけ

2. 事業計画

- サウンズコンテストの開催
- (1) 応募・集客にITを利用
 - (2) 後援各社の報道による募集・集客
 - (3) OISAニュースとの連携

1. 事業方針

協会活動方針に従い、下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献をめざす。

- (1) 最新技術動向に関する知識の普及
- (2) 情報処理に関する技術の向上

2. 事業計画

- (1) 技術交流会の開催
- (2) 技術研究会の開催

企画委員会

委員長 佐藤 誠樹

(株)エイビス取締役部長)

副委員長 山村 耕造

(太平工業(株)センター長)

事務局 上杉 浩司

(大分交通(株)次長)



研修委員会

委員長 首藤 勇

(コンピュータエンジニアリング(株)大分営業所取締役)

副委員長 田崎 方人

(鶴崎海陸運輸(株)課長)

事務局 山下 哲雄

(新日鉄ソリューションズ(株)ゼネラルスタッフ)



広報委員会

委員長 筒井 健嗣

(KCS大分情報専門学校校長)

副委員長 福田 耕三

(専修学校総合技術工学院部長)

事務局 高橋 良忠

(大銀コンピュータサービス(株)取締役)



1. 事業方針

平成15年度の協会活動方針に沿い、委員会活動の充実と強化および会員相互の理解と協力をより一層深めることを目的とした委員会活動を展開する。

2. 事業計画

- (1) 先進地域ならびに先進企業への視察研修の企画実行
- (2) 情報サービス産業事業者が抱えている事業ニーズの調査および情報提供

1. 事業方針

- (1) 研修事業のあり方は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映していく。
- (2) 平成15年度の協会活動方針に則り、開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。
- (3) 他委員会との合議を積極的に進め、行政との連携も視野に委員会活動の活性化を図る。

1. 事業方針

協会活動の内外への広報や、リクルート情報活動等を主体にした事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。

2. 事業計画

- (1) OISAニュースの発行
- (2) 部外広報
- (3) リクルート情報活動(新卒採用対策、Uターン対策)
- (4) 部内広報

私達は地理情報の専門家です。

我々地元測量業者は、大分県の地理情報システムに関するデータ生産の専門企業です。

【景観3Dモデル等CG作成、デジタル写真測量、パノラマ画像作成、3D-GIS、各種台帳等データベース作成・更新業務 他各種地理情報処理サービス】

“感謝の創業40周年” 株式会社 日建コンサルタント ISO9001:2000 認証登録

大分市豊海3-7-7 Tel.097-534-0313 Fax.097-534-6858 E-mail:info@nikken-c.jp

平成15年度総会記念講演

日時：平成15年4月23日(水)午後4時より

場所：第2ソフィアプラザビル2階

講師：日本銀行大分支店

支店長 植村 修一氏

演題：最近の内外金融経済情勢について

<日銀の新体制>

一昨日から昨日にかけ日銀の支店長会議が開催され、昨夜戻ってきたところです。

ご案内のとおり3月20日付で総裁と副総裁が代わりました。福井新総裁は、もともと日本銀行に入行し長年勤務したあと、1998年副総裁当時に一旦民間のシンクタンクに出ておりましたので、今回5年ぶりの総裁としての復帰ということになります。

新総裁からは「前例にとらわれることなくやっつけよう。また、中央銀行だからといった観念論や抽象論で物事を論じるのではなく現実を直視し、時代の流れを捕らえていこう。」との訓示がありました。私もまさにそのとおりだと思います。日銀も新たなスタートをされるのではと思っています。

<金融政策の背景としての経済状況>

「景気回復のシナリオ」と題したチャートによって、景気回復のキーワードや施策、そのおおよその進捗状況が説明された。

さらに7ページにわたる資料によって、各種の経済指標一つ一つのポイントの解説があった。

――中略――

以上を総括しますと、「何となくぱっとしないが、しかし株価は別として他の指標は右肩下がりにどんどん落ち続けている姿でもない。世界経済の先行きの予想も、特段悲観的な数字が示されているわけでもなく、手放し

の楽観的な状況でもない。しばらくは暗中模索の状態が続き、イラク問題やSARS問題などのようなイレギュラーな動きの影響をどれだけ受けるかがポイントになる」というところではないかと思っています。

<日銀の金融政策>

以上述べたような内外の経済状況を前提に、金融政策に触れさせてもらいます。

2001年3月に金融市場調節の操作目標を無担保コールレートから日銀当座預金残高に変更しデフレを脱却するまではこれを止めないこととしました。日銀当座預金残高を円滑に行うための長期国債買入れも4千億円から順次増額され、2002年10月には1,2兆円、約3倍になっています。長期国債の発行は月2兆円であり、半分以上を日銀が市場から買入れていることとなります。

2001年3月には4兆円であった日銀当座預金残高は2003年3月末には5倍の約20兆円になっております。これがいわゆる量的緩和の促進ということです。金融機関の手元資金を増やすことにより、貸出しに積極的になるとか何らかの金融資産を購入することにより、市中にお金がにじみ出て来る効果を狙ったものであります。しかし現状はその狙った効果が出ているとはいえない状況であります。

ただ、金融機関にお金がふんだんにあることにより、1998年頃のような金融機関自身が資金繰り右往左往していたような状況ではないので流動性不安を解消させる効果はあるだろうと判断しています。ただ、それ以上でもないで、一層の企業金融の改善の方法について総裁以下全員が知恵を絞ろうということになっています。

一般の方々にお話しをするときに、昔のように金融の引き締めや緩和、公定歩合の上げ下げが行われ、その結果銀行の金利が上下す

る、住宅融資金利が上下するなど、一般の方々も感覚がつかめるような施策でした。

しかし日銀の当座預金残高云々となると、日銀の特殊なB/Sを理解できないと何のことかよくわからない。それほどに特殊な領域の施策もとられているわけです。

さらにもっと進めて数値目標すなわち2.3%程度のインフレ率を公約として掲げるべき、そしてそれを達成するまで何らかの施策即ち長期国債の買い上げや不動産や株などの資産を担保にしたリート(REIT)・ETFなどを買って間接的に不動産市場や株式市場に資金を供給するようなことをすべき、という議論、即ちインフレーターゲットの議論もあります。これはある程度金利がある状態や、1~3%以上のインフレになってもいいというのでは決してないので、微妙な調整が必要です。このやり方は歴史的に世界的に未体験のことですので、清水の舞台から飛び降りる覚悟でやらなければならない。すぐれて情勢判断と決断の問題だと思えます。

この後、金融庁等のマターではあるが、としながらも竹中大臣就任後の金融システムについての解説をいただき、1時間以上にわたる講演が終了した。



後藤 与一 前事務局長挨拶

このたびOISAの事務局長を高野郷氏と交替いたしました。平成4年6月より事務局を仰せつかり、以来、協会活動に関わってきましたが、皆様には数多くのご支援、ご指導をいただき有り難うございました。

OISAは平成元年に設立され、今年で15周年となりましたが、この間の協会活動も協会内部の活動だけでなく、関係機関、諸団体との関わりも多くなり、当初に比べかなり変わったし、充実してきました。これも、協会会員会社のご協力によるもので、特に協会役員のご指導と6つある委員会活動の成果だと思っています。会員の皆様には厚くお礼申し上げます。

事務局は交替しましたが、今後も協会事業には出席することもあるかと思しますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、OISAの一層の発展と会員皆様方のますますのご隆盛をお祈り致します。



高野 郷 新事務局長紹介

【会社】
株式会社オーイーシー
取締役経理部長 高野 郷

【略歴】
昭和22年生（佐伯市出身）。
平成14年3月大分銀行を退職後、大分中央保険㈱に入社、平成15年5月退職、平成15年6月より現職。

【ご挨拶】

この度、事務局を仰せつかりました高野でございます。私にとりまして、情報産業の世界に身を置くことは初めてでありますので、協会活動をお手伝いすることにつきましては、いささか不安もございりますが協会会員の皆様や諸先輩方のご協力を得て、円滑な運営に努力して参りたいと存じます。

なにとぞ、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。



STK 鶴海グループ エステイテクノロジー株式会社

代表取締役会長 疋田 功
代表取締役社長 田中 英敏
〒870-0108 大分市大字三佐2468番地10
TEL.097-527-2161 FAX.097-522-3001
http://www.stk-net.co.jp

- 半導体製造装置製造
- メカトロ装置の開発
- 情報通信システムの開発
- テストハウス
- 半導体ICの検査
- 精密機械部品の加工/組立
- 保険代理店業
- ゴルフ練習場、ゴルフショップ

女性のための「ホワイトデーセミナー」開催

日時：平成15年3月14日(金) 17:00～
 場所：オアシスひろば NHK放送局
 スタジオホール「キャンパス」
 一部：(株) コシノ商事
 代表取締役社長 小篠綾子氏
 「楽しくなければ人生じゃない」
 二部：(株) 指宿ロイヤルホテル
 代表取締役社長 有村佳子氏
 「より良い人生を生きるために」



有村佳子様

第二部は、(株)指宿ロイヤルホテルの社長である有村佳子様「より良い人生を生きるために」という演題で、生い立ちから現在にいたるまでのご苦労とご自身に起こった出来事や涙、笑い、夢、苦悩に満ちたその壮絶な生き様をお話していただきました。

女性を対象にしたセミナーは協会初の試みでしたが、女性を中心に約200名の方が熱心に講演に耳を傾けていました。お楽しみ抽選会の後に閉会となりましたが、終了後のアンケートによりまずと「感動した」「人生の勉強になった」「すばらしい話だ」という言葉が多く書かれており、ぜひまた、このようなセミナーを開催してほしいとの意見が多くありました。また、会場や開催時間の関係で「講演中にも入場者の出入りがあり気になった」といった反省材料もいただきました。

(研修委員会)



小篠綾子様



熱心に聞き入る会場風景

講演者プロフィール

(株)コシノ商事
 代表取締役社長 小篠 綾子氏
 大正2年6月15日大阪府岸和田市に生まれる。
 商業界全国同友会エルダー ザ.Uの会長
 【著書】ファッションすきゃねん
 アヤコのだんじり人生

(株)指宿ロイヤルホテル
 代表取締役社長 有村 佳子氏
 昭和15年 12月14日埼玉県浦和市に生まれる。
 昭和34年 三井信託銀行入社。
 昭和40年 有村芳郎氏と結婚。
 昭和45年 黒薩摩焼窯元「いぶすき焼」創業。
 昭和48年 (株)指宿ロイヤルホテル創業 副社長に就任。
 昭和57年 有村芳郎氏死去により、代表取締役社長に就任。
 現在に至る。

新入会員紹介 今後ともよろしくお願いたします。

アソシエント・テクノロジー(株)
 代表取締役 成重 健二



事業内容：SIビジネスサービス
 ネットワークセキュリティサービス
 IT教育サービス
 従業員：98名
 所在地：大分市東春日町17番20号
 大分第2ソフィアビル1F
 TEL(097)573-4002
 FAX(097)573-4003
 所属：研修委員会

中津コンピュータカレッジ
 担当部長 塩田 伸一(教育部長)



事業内容：教育訓練
 従業員：18名
 所在地：大分県中津市下池永83-1
 TEL(0979)22-1122
 FAX(0979)22-1135
 所属：研修委員会

フレッシュさん紹介 今後ともよろしくお願いたします。

大銀コンピュータサービス(株)
 営業部
 システム開発課
 安達 晶子
 趣味：テニス、音楽鑑賞
 好きな言葉：感動



(株)日鐵物流コンピュータ
 システム大分
 開発グループ
 三浦 美咲
 趣味：素敵な言葉を集めること
 好きな言葉：楽しくない人生は基本的に意味がない



(株)富士通大分ソフト
 ウェアラボラトリ
 第三ソリューション開発部
 梶原 直樹
 趣味：野球、サッカー、温泉
 好きな言葉：継続は力なり



入社してから3ヵ月が経とうとしています。最初の頃は右も左も分らず毎日が緊張の連続でしたが、今では少しずつ会社の雰囲気にも慣れてきたような気がします。

新人研修を終えて、現在は社内業務に取り組んでいます。しかし業務は分からないことばかりで、先輩方の指導のもと、一つ一つ覚えていくのに必死な状態です。また業務だけでなく電話応対や接客などにも積極的に挑戦していますが、まだまだ失敗してしまいます。

今は早く仕事を覚え、自分のできることを精一杯したいと思っています。そして失敗の山を乗り越えて社会人として成長し、また技術者としてより良いものを提案できるようになりたいです。

社会人になって早いもので2ヵ月が経ちました。この2ヵ月間は、毎日新しい出会いがあり、今まで以上に充実した日々を送ることができました。しかし、充実感と同じように、新しい環境に慣れていないための不安感もありました。その不安はまわりの人たちが取り除いてくれました。みなさん温かく、忙しいにもかかわらず、何も判らない私に優しく、時には厳しくご指導くださいます。本当にありがたいと感じます。

今は、はやく仕事ができるように一つ一つのことを着実に自分のものにしていきたいです。毎日きついですが、仕事のできる自分の姿を想像して頑張っていきたいと思っています。

入社して早くも3ヵ月が過ぎようとしています。まだまだ分からないことはたくさんありますが、最近ようやく職場の雰囲気に慣れてきたと思います。

今後、私にどのような未来が待っているのか、今は期待と不安が交錯しています。今できることは、自分にとって大切な時期だということ肝に銘じて行動すること、また失敗を恐れずに問題に立ち向かうことだと思います。

これからたくさんの壁にぶつかっていくことでしょうか。どんなにつらい時でも決して下を向かず、しっかりと顔を上げ、一步一步着実に歩んでいこうと思っています。

そして、「周りから信頼されるSE」を目標に、今後がんばっていききたいと思っています。

事務局だより

大分労働局長からのご依頼で、「賃金不払残業総合対策要綱」および「賃金不払残業の解消を図るために構すべき措置」の資料をOISA事務局より会員各社あて送付しました。内容について周知徹底をお願いします。

OISA News 2003.7.31発行

発行：大分県情報サービス産業協会
 会長 郷司 潔

編集：広報委員会
 事務局：大分市城崎町2-6-31
 (大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL (097) 537-5918
 FAX (097) 534-4545

http://www.oec-net.or.jp/~oisa/

印刷：佐伯印刷株式会社

HITACHI SC



化学/プロセス/マテリアルのSIサービスと
 コンサルテーションの会社です。

日立エス・シー株式会社
 本社：〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目8番11号
 大分事業所：大分市大字中の洲2番地
 TEL：097-521-8099 FAX：097-523-2097
 他事業所：小山、川崎、堺
<http://www.hitachi-sc.co.jp>